



火災臭の消臭剤

製品名：LLST-220 [日本製]

■ 500ml (スプレー) ■ 1Kg (ボトル)

火災臭の芳香族化合物・アルデヒド化合物の化学消臭

「必ずお読みください」

火災悪臭物質が付着した壁・床・天井・造り付収納部を黒色と想定します。
 当剤を白色塗料に例え、この黒色面を塗り残しが無いように白色に塗りつぶします。
 火災臭の発生箇所やその気流動向から火災臭の滞留箇所および火災臭の漏れ出た
 ドア周辺や換気口周辺には多量に塗装し、他の箇所は悪臭の濃度状況により塗装量を
 調整してください。
 塗装完了後、窓などを開け換気してください。
 ほどなく当剤特有臭が無くなると同時に火災臭は消失します。
 乾燥後に残存する白粉を拭き取りして完了です。

施工時の注意

各種防護用具使用

- ・呼吸用：有機ガス用防毒マスク
- ・保護手袋：使い捨て手袋
- ・保護眼鏡
- ・保護衣：使い捨て

熱/火花/裸火/高温から遠ざけること/禁煙

家具・インテリアで使用される皮革、合皮類では
 変色するタイプの製品がございます。
 このような製品には直接スプレー等をしないで
 ください。施工前に、室内の同様な製品には必ず
 ビニールシート等で覆ってから実施してください。

製品情報	：形状	液体
	：色相	白色（上層に透明層が分離）
	：臭い	特有臭
	：主成分	アルコール化合物、亜鉛化合物、精製水等
	：pH	9.5～10.5
	：粘度	<10 mPa・s
保管方法	：溶解性	水に混和
	：GHS	注意喚起語危険
注意点		人や動物に対して吹きかけないでください
液剤の取扱い		液剤の上層に透明層が分離するため、良く攪拌して使用
製品容量		500ml・1kg・5kg入りバックインボックス（BIB）

グラフトン株式会社

LLST-220 施工マニュアル

—スプレーガンおよびモケットモップによる塗装—

<p>施工者は各種防護用具を装着した上でスプレーおよびモケットモップ塗装を実施してください。 施工が終了次第、窓およびドアを開放してください。</p>	
①火災臭発生源	<ul style="list-style-type: none"> ・発生源および発生源を取り囲む周辺に原液を100～200g/m²塗装 ・発生源が撤去されている場合は断面および裏面空間（石膏ボードであれば躯体との隙間空間）
②火災臭発生源の周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の強悪臭箇所（床・壁・天井・造り付収納部）には原液を100g以上/m²塗装。 隣室などで弱悪臭箇所は原液50～100g/m²塗装。
③天井裏空間 壁と躯体空間 床下空間	<ul style="list-style-type: none"> ・各空間へ通ずる点検口等より原液を100～200g/m²塗装。 点検口の無い場合は孔穴を開けロングノズル等を活用し原液を100g以上/m²塗装。
④エアコンへの施工	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋のエアコンの本体内部および特にフィルターに原液を50～100g/m²塗装。
⑤エアコンフィルター への塗装と エアコンの稼働（稼働可能時）	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンフィルターを取り外しフィルターの洗浄後、原液を塗装。 フィルターを取り付けし、温度設定28℃にて部屋の乾燥促進（60分）
⑥エアコン停止	<ul style="list-style-type: none"> ・窓およびドアを開放し外気循環。
⑦臭気確認	<ul style="list-style-type: none"> ・施工後3～4時間程度で当剤特有臭が消散するとともに火災臭の消臭が完了。
⑧残存臭の消臭	<ul style="list-style-type: none"> ・火災臭が残存する箇所がある場合、再度当剤を当該箇所周辺に塗装。 ・火災臭は屋内気流の滞留する箇所に残存するため、事前に滞留箇所へ100～200g/m²塗装を 入念に施工することで合理化。
⑧施工完了後の 拭き取り清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥後液剤から白粉が残るため施工箇所を雑巾等で拭き取り作業。 同様に換気扇やエアコン内部およびフィルターの拭き取り作業。
■ 塗装用具	<ul style="list-style-type: none"> ・スプレーガン（推奨ノズル口径1.4～2.0mm）・電動スプレーガン ・モケットモップ・刷毛
■ 液剤の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・液剤の上層に透明層が分離するため、良く攪拌後スプレータンクに挿入して使用 ・冷暗所保管
■ 発生源でない箇所の消臭	<ul style="list-style-type: none"> ・火災臭が壁紙、ファブリックなどに薄く染み付き日常生活で気になる場合は、原液を5～10倍に 水希釈してご使用ください。 * LLST-220に含まれるアルコール化合物の配合量はゴムや樹脂を変質させる 可能性が有るため、希釈して事前テストをした上でのご使用を推奨します。

火災臭の気流と滞留箇所の確認

火災発生源を中心に火災臭の上昇気流の出口と滞留箇所を確認。
 火災臭の周辺と特に天井の広範囲に原液を100～200/m²を塗装。
 火災臭の出口周辺と換気口周辺の悪臭滞留箇所に原液を100～200g/m²を塗装。
 また、換気ダクトの内外に原液を100～200g/m²を塗装。
 他の箇所には悪臭の強弱により原液を50～100/m²を塗装。

塗装用具

* 500mlハンドスプレーの場合もスプレーガンの要領でご使用ください



スプレーガン
全面塗装用



電動スプレーガン
全面塗装用



モケットモップ
全面塗装用



刷毛
細部・凸凹面塗装用

施工用具の組み合わせにより平面の部の塗装および細部・凹凸部の塗装をご調整ください